表題（タイトル）（１６ポ）

―副題（サブタイトル）（１４ポ）―

著者名１（１１．５ポ）　〇〇こども園（８ポ） 著者名２（１１．５ポ）　〇〇大学○○（８ポ）

英語Title（タイトル）（１４ポ）：英語Subtitle（１２ポ）

※初回の投稿時には名前や所属は記載せず、著者数に応じて、日本語表記欄と英語表記欄を増減させる。

Author１（１１．５ポ）(*OMEP Kindergarten* )（８ポ）

Author２（１１．５ポ）(*OMEP University of Education* )（８ポ）

**要　旨（研究論文、実践報告は日本語要旨をつけること）**

(9ポイント)　600字程度　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**キーワード：○○○，○○○，○○○** ５語以内 　

**Abstract　（研究論文のみ英語要旨もつけること）**

(9ポイント)　150語程度　XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXX XX XXXXXX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXX XX XXXXXX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXXX XX XX XX XX X X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXX XX XXXXXX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXX XX XXXXXX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXXX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXXX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XXX XX XX X XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX XX.

**Key Words**：〇〇，〇〇，〇〇，〇〇，〇〇　５語以内

**問題・目的**

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

(9ポイント)

【文献の引用方法】

田中（2020）によると、

Tanaka（2020）は、

・・・という（田中2020）。

・・・である（Tanaka & Yamamoto 2020）。

例えば、田中（2015a, 2015b）では、

田中・井上（2020）は、

・・・している（田中・井上2020）。

Tanaka & Inoue（2020）によれば、

・・・と確認された（Tanaka & Inoue 2020）。

著者が３名以上の場合

田中他（2020）が・・・

・・・といわれている（田中他2020）。

Tanaka 他（2020）を用いて、

・・・だろう（Tanaka 他2020）。

翻訳書は原著者名とその刊行年を最初に引用し、その後に翻訳書の刊行年を括弧に入れる。

Tanaka（2018/2020）では、

・・・と示された（Tanaka 2018/2020）。

複数文献の引用

・・・といわれている（Tanaka 2020；Yamada & Sato 2017）。

・・・という（田中1986；山本2007）。

文章の引用

「・・・・・・・・」と示してる（田中2020：150-151）。

**方　法**

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**倫理的配慮**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○。※倫理審査を受けた大学名や所属機関名等、個人が特定できる情報は初回原稿には書かないこと。ただし、その分の字数を換算して空白行をあけておくこと。

**結　果**

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

Table 1. ○○○

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

□□□・・・

Figure 1. 〇〇〇

|  |
| --- |
|  |

**考　察**

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**今後の展望**

**横大見出し**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**横小見出し**　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**注**

(1) 注の内容は、このように箇条書きで記入します。

(2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○.pp.99-999.

**謝　辞**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○※個人が特定できる情報は初回原稿には書かないこと。ただし、その分の字数を換算して空白行をあけておくこと。

**付　記**

利益相反関係の有無や提供を受けた資金名等を記載

※個人が特定できる情報は初回原稿には書かないこと。ただし、その分の字数を換算して空白行をあけておくこと。

**引用文献**

(9ポイント)

１）文献は、日本語文献と外国語文献を分けずに、著者（共著の場合は第1著者）の姓によるアルファベット順に並べる。

２）著者名

・日本語の著者名は、姓、名の順に書く。著者名の後にはピリオド（．）は付けない。外国語の著者名は、姓を先に書き、カンマ（，）をおき、ファースト・ネーム、ミドル・ネームのイニシャルの順で書く。もし同姓で、イニシャルも同じ著者があるときは、名も略さずに書く。

・共著者が20名以下の場合、すべての著者を書く。著者が21名以上の場合は、第1から第19著者まで書き、途中の著者は"..."で省略表記し、最後の著者を書く。

３）論文は、著者名、刊行年、論文題、掲載雑誌名、掲載巻号、ページを書く。掲載雑誌名はイタリック体とする。

４）書籍

・書籍の場合は、著者名、刊行年、書籍名、初版以外は版数、出版社を書く。書籍名はイタリック体とする。

・翻訳書の場合は、原著者姓名、原書籍刊行年、原書籍名、出版社の後に、原著者姓名（※カタカナ）、翻訳書刊行年、翻訳書籍名、翻訳者姓名（訳）、翻訳書出版社を記載する。

【記載例】

中央教育審議会（2022）幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会：審議経過報告

https://www.mext.go.jp/content/20220405-mxt\_youji-000021702\_2.pdf（情報取得2023/9/10）

藤崎亜由子・藤井 修・島本一男・亀山秀郎・片山知子・吉津晶子・名須川知子・西脇二葉・冨田久枝・山村けい子・萩原元昭（2023）*保育に活かすSDGs/ESD：乳幼児の権利と参画のために.* かもがわ出版

Heckman JJ (2006) *Giving Kids a Fair Chance*. MA: The MIT Press（ヘックマンJJ（2015）*幼児教育の経済学.* 古草秀子（訳）東洋経済新報社）

文部科学省（2017）*幼稚園教育要領*. フレーベル館

椋田善之・秋田喜代美・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・上田敏丈・野口隆子・箕輪潤子・淀川裕美（2023）事業継承タイプにみる私立幼稚園長と私立保育所長の継承意識に関する研究. *国際幼児教育研究* 30：95-110

Nakamura M, Hosaka K, Itoh N, Matsumoto T, Matsusaka T, Nakazawa N, Nishie H, Sakamaki T, Shimada M, Takahata Y, Yamagami M & Zamma K (2019) Wild chimpanzees deprived a leopard of its kill: Implications for the origin of hominin confrontational scavenging. *Journal of Human Evolution*, 131, 129-138

名須川知子（2014）. 幼保一体化に関する比較研究：スウェーデンの保育政策を中心に. *兵庫教育大学研究紀要*, 44, 35-42

OECD (2006) *Starting Strong Ⅱ : Early Childhood Education and Care*. Paris : OECD Publishing（OECD（2011）*保育白書　人生の始まりこそ力強く：乳幼児期の教育とケア.* 星三和子・首藤美香子・大和洋子・一見真理子（訳）明石書店）

津守 眞（1997）*保育者の地平：私的体験から普遍に向けて.* ミネルヴァ書房

研究論文は原稿１５ページ以内

実践報告・その他の論考・資料等は、１０ページ以内